

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年3月2日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	伊万里市	代表者名	深浦 弘信
担当者部署	総合政策部	連絡先電話番号	0955-23-4313
担当者役職	係長	担当者氏名	田中 隆太
住所	848-8501 佐賀県伊万里市立花町1355-1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	最近のDXの動向について、事例を踏まえ説明をいただいたところや、市で検討している商工業関係や農業関係などのそれぞれの分野ごとに事例を踏まえた事案の説明をいただいたところ。全国的な市町村の事例に加え、県内近隣の情勢も聞くことができ、大変参考になった。
アドバイザーへの要望事項	次回で今年度のこの協議の最終となるため、DXの推進に対し一定の方向性を確定させたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年2月24日	10時00分	12時00分		120
3-2. 派遣場所	会場名	伊万里市役所	最寄駅	JR伊万里駅	
	所在地	佐賀県伊万里市立花町1355-1	最寄駅からの交通手段	バス	
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	8人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	市のDX推進体制をどうするのか。市役所内、商工業部門、農業部門など各分野でのDXの推進方法をどうするのか。令和3年度のDXの推進について	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	令和3年度のDX推進体制(案)の確立。DX推進の具体的方法の決定。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	推進体制については、ワーキンググループの設置について提案をいただいた。この提案に基づきそれぞれの部門をメンバーとし設置を行った。DX推進方法は、DXについての住民、職員に対し周知するとともに企業や団体等に広く意見を募るなどいろいろな方法で事例の検討を進める。また、市内企業等のDX推進を検討する事業所等とマッチングを図る。それぞれの分野、進捗状況ごとの他市町の具体的な事例の紹介。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	ワーキンググループの設置。市役所内の商工部門、農業部門、企画部門に対しDX推進について情報提供及びDX推進に対する意識づけがされた。市役所内の各部門からDX推進に対する情報や意見が寄せられ、次回の協議で発表してもらうこととなった。佐賀県が進めている商工業支援事業の情報提供を受け、市のDX推進への活用を提案された。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	今後のDXの推進について具体的な方針や事案の作成について、次回の協議で内容を深めることとした。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 対象が限られており、支援の有効性はそれぞれから確認できているため。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	市のDX推進方針、目標等の制定	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

